

議案第2号 - ②

# 特別養護老人ホームやすらぎの里シエスタ

平成28年度事業計画

# 特別養護老人ホームやすらぎの里シエスタ

## 平成28年度事業計画

### 【運営方針】

※特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原事業計画に準ずる

### 【年間重点目標】

※特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原事業計画に準ずる

### 【稼働目標】

#### ① 特別養護老人ホームやすらぎの里シエスタ

平均入所率 100%

#### ② (予防) ショートステイやすらぎの里シエスタ

平均利用率 70%

### 【各種委員会】

※特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原事業計画に準ずる

### 【全体研修】

※特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原事業計画に準ずる

# 特別養護老人ホームやすらぎの里シエスタ

(介護老人福祉施設)

## ショートステイやすらぎの里シエスタ

(短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護)

### 【利用定員】

長期入居：30名（1ユニット10名×3ユニット） ショートステイ：10名

### 【職員配置】

施設長：1名 事務職員：2名 介護支援専門員：1名（兼務）生活相談員：1名（兼務）  
看護職員：4名（兼務）機能訓練指導員：4名（兼務）管理栄養士：1名  
栄養士：1名（非常勤） 介護職副主任：1名 ユニットリーダー：4名  
介護職員：16名

## 1. 基本方針

- ①個々のニーズに応え、ご利用者ひとりひとりがその人らしく生きることを支えます
- ②職種間・家族・地域との連携を大切にし、信頼される施設を目指します
- ③楽しみ・喜びを見出し、笑顔あふれる施設にします

## 2. 年間重点目標

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

《若葉ユニット》

『入居者の更なるニーズの把握に努め、楽しみが持て、その人らしい暮らしの実現に向けて支援していく』

《向日葵ユニット》

『24時間シートを生かし、一人ひとりの好みに合わせた支援をしていく』

《楓ユニット》

『事故のない安心して過ごせるユニットを目指し入居者の自立を支える』

(2) 短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

“楽しかった・また来たい” と思って頂けるような満足度を高め稼働率の向上を目指す

《桜ユニット》

『ご利用者・ご家族様が安心して利用できるサービスの提供を行う』

### 3. 健康管理の充実

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

- ・ 嘱託医の回診 週2回・健康診断の実施 年2回・予防接種（インフルエンザ）
- ・ 酸素濃度測定 月1回・血圧（入浴日及び必要時）、体重測定 月2回

(2) 短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

- ・ 血圧、体温、体重測定、血中酸素濃度測定

### 4. 行事計画

月	行事名（内容）	その他の行事
4月	お花見会	手作りおやつ・お誕生会・外出支援
7月	七夕・七夕飾り（職員・ボランティアによる飾り付け）	
9月	敬老秋祭り会（ご家族参加での敬老のお祝い、模擬店販売）	
10月	紅葉狩り・鮎狩り	
12月	クリスマス会（余興、夕食会）	
1月	正月行事（初詣参拝）、餅つき	
2月	節分会（豆まき）	
3月	ひな祭り（ひな祭り展示）	
※ <input type="checkbox"/> ご利用者様全体の行事、無印は（各ユニットにて実施） ※ 誕生会（月1回）は各ユニットにて実施		

### 5. 会議・委員会の実施

会議名	実施頻度	目的	参加者
入居検討委員会	年3回	入所決定過程の透明性及び公平性を図り、入所者が円滑に入所できること目的とする。	施設長・看護師・ケアマネ・相談員、民生委員、市役所職員
特養会議	月1回	サービス提供における職員の意識の統一や問題点及び改善点への取り組み。	施設長、特養職員全員
リーダー会議	適時	ユニット間の職員異動及び改善の取り組み。	ユニットリーダー、相談員、介護副主任、ケアマネ
ユニット会議	月1回	ユニット内におけるサービス提供の状態について、問題点の解決等を話し合う	各ユニット職員、介護副主任、ケアマネ、相談員、管理栄養士、看護師
身体拘束・虐待防止委員会	月1回	利用者への身体拘束・虐待を防止するための処置等を話し合う。	施設長・看護師・ケアマネ・相談員・介護副主任・各ユニット事故防止委

			員
褥瘡対策委員会	月1回	健康で尊厳ある生活実現の為に、褥瘡発生予防と早期発見に対応する。	各ユニット職員、介護副主任、ケアマネ、相談員、管理栄養士、看護師
事故防止検討委員会	月1回	介護事故防止についての対策を話し合う。	施設長・看護師・ケアマネ・相談員・介護副主任・各ユニット事故防止委員
品質向上委員会	適時	職員の利用者に対する介護力の向上について考える。	施設長、各ユニットリーダー 介護副主任、相談員、ケアマネ

## 6. 内部研修

研修名	実施頻度	目的	参加者
看取りに関する研修	年1回	看取りに関する指針の内容を周知する	特養職員全員
介護リスクマネジメント研修	年2回	介護事故予防	特養職員全員
腰痛予防に関する研修	年1回	職員の身体的介護負担軽減	特養職員全員
品質向上に関する研修	年4回	品質向上（排泄・水分摂取・腰痛予防）について。	特養職員全員
身体拘束廃止・高齢者虐待防止に関する研修	年2回	身体拘束・高齢者虐待予防について	特養職員全員
褥瘡予防に関する研修	年2回	褥瘡予防について	特養職員全員
認知症に関する研修	年1回	認知症への理解を深める	特養職員全員
感染症に関する研修	年2回	インフルエンザ、ノロウイルス、O-15 予防について	特養職員全員

## 7. 外部研修会

研修名	開催	目的	参加者
認知症に関する研修会	未定	認知症の理解と関わり方	業務職員
感染予防に関する研修	未定	感染症に関する知識とその取り組み	業務職員
身体拘束・虐待予防に関する研修	未定	身体拘束廃止への取り組み	業務職員
介護支援専門員現任研修会	未定	介護支援専門員のレベルアップ	ケアマネ
痰の吸引に関する研修	未定	介護職員等による吸引業務の為	業務職員
その他必要性の有る研修	未定	未定	業務職員